

## 令和8年度 都立雪谷高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
<b>国語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的に考え、それを表現する力を養う学習活動の充実</li> <li>・古典の学習を通じて、日本語や伝統文化について考える学習活動の充実</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①4月の教科会及び各科目の担当者間での指導方針の検討と共有</li> <li>②論理的思考や合理的な判断力を身につけ、要約文や意見文などを的確に表現する授業の計画及び実施</li> <li>③古典作品の世界観と現代のつながりを実感できる教材選定と授業内容、補助教材プリント等の作成及び活用</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①自身の考えを文章に表現し、他者と共有し意見交換することにより、自他の考えをさらに深める学習活動の実施</li> <li>②古典作品と現代の文章を比較し、共通点と相違点を適切に認識し、自身の言語活動をより充実したものにする意欲の育成</li> </ol>
<b>地歴公民</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸資料の読みとり、活用による学習活動の充実</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①教科会で指導方針を確認・共有</li> <li>②史料・統計資料・地図等の諸資料を積極的に活用し、読み取りを通じて気づきを促す。</li> <li>③定期考査における、史料・統計資料・地図等の諸資料を活用させる設問の作成と分析</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①諸資料を用いた探究的な学習活動(グループワークや発表を通じた他者との情報共有、レポート作成など)</li> <li>②BYOD端末を用いた授業の実施</li> </ol>
<b>数学</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的に考える資質・能力の育成</li> <li>・既習事項の定着不足</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①4月の教科会で指導方針を確認</li> <li>②内容の暗記にとどまらず、本質的で汎用性のある知識技能を身につけるための授業の実施</li> <li>③思考力・判断力・表現力が身につくような資料の作成</li> <li>④朝学習を通して定期的に既習事項を復習する</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①数学的教養や学習態度が多くの生徒の身につくよう段階を追って論理の飛躍がない授業展開を行う。</li> <li>②課題学習をはじめ、興味をもって主体的に学べるような題材を提示</li> <li>③模試受験を通して既習事項の基礎知識や頻出問題を復習する</li> </ol>
<b>理科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読解力を向上させ、実験結果やデータを適切に読み取り、論理的に考察・判断する力の育成の充実</li> </ul>	<p>文章で記述された現象を適切に図式化する課題や論理的推論が必要な課題を定期的の実施し、文章や与えられた情報を適切に理解できているかを確認する。</p>	<p>実験を行い、得た測定結果をグラフや数値化したものを、科学的に考察する。それを決まった形式を用いて、論理的に記述し、レポートとして提出させ、評価を行う。</p>
<b>英語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」「話すこと」に対する学習活動の充実</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①毎学期、課題作文に取り組みさせる。</li> <li>②JETを含んだ、英語教員による英検2級、準一級のスピーキング対策。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①エッセイコンテストへの応募</li> <li>②face-to-face の実践的英会話の奨励</li> </ol>
<b>体育</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①1、2学年2クラス3展開、3学年2クラス4展開の授業を円滑に実施し、男女共習及び領域選択の幅を広げ、生徒の主体的な活動による深い学びを実現させる。</li> <li>②昨年度から設置した3学年必修選択科目「体育演習」を発展させ、生徒の課題解決及び進路実現に繋げる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①男子のみ、女子のみ、男女共習の3グループに分け、それぞれに適した種目を実施する。</li> <li>②体育系大学進学を目標とし、体育理論、実技をバランスよく学習する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①②ともに学習内容を「体育ノート」にまとめ、自身の課題解決に向けて、自主学習していく。</li> </ol>
<b>芸術</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①音楽的な見方・考え方を働かせた活動</li> <li>②言語活動の充実</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク、ペアワークを積極的に取り入れる。</li> <li>・音楽を形作る要素を題材事に取り上げて考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンサンブル等における音楽を通じたコミュニケーションの促進をする。</li> <li>・音楽について語り合う雰囲気醸成する。</li> <li>・音楽教養において楽曲分析や楽曲制作の活動を取り入れる。</li> </ul>
<b>家庭</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実験や実習、演習の充実</li> <li>②ICTを活用する力をはぐくむ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実験や実習、演習等を通して各単元の学習内容についての理解を深め、生活に生かせるようにする</li> <li>②小テスト、資料配布、実習の振り返り等にICTを活用し、学習の道具としてICTを活用することができる力を育む</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「STOP！若者の消費者トラブル 動画・シナリオコンテスト」への応募</li> </ul>
<b>情報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して必要な情報を調べ、分析する力の育成</li> <li>・様々な物事にソフトウェアを活用しようとする姿勢の形成</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①基本的に毎授業でICT端末を活用する。</li> <li>②授業内で表計算ソフトや文書作成ソフトの基本的な操作から説明し、活用した実習を行う。</li> </ol>	<p>ソフトウェアを用いた課題設定を他教科の内容と紐づけ、教科横断的な授業を展開する</p>